

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	上峰町立上峰小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上に向けて、校内研究を中心に指導方法の改善を図ったり、「授業づくりのステップ1, 2, 3」を活用したりしていく。 ・心の教育のために、県や学校アンケートにより、「いじめ」の早期発見、早期対応に努め、保護者との連携できめ細やかな対応を行っていく。 ・特別支援教育の充実のために、学校内外の人材をいかしての研修会の実施による職員の意識改革、ケース会議による適切な支援の在り方を探る。
------------------	---

2 学校教育目標	心と智恵と技をとぐ上峰っ子の育成
----------	------------------

3 本年度の重点目標	<p>①「学力の向上」を全職員が自分事として受け止め、共通理解・共通実践のもと、日々の授業において授業改善を行う。</p> <p>②「いじめの未然防止」に力を注ぎ、アンケート、児童観察による早期発見・早期解決と保護者との連携を軸にして取り組む。</p> <p>③「気になる子、配慮を要する子」に関する教職員の専門性と意識の向上を図り、適切な支援へと繋げる。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目										主な担当者		
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価				
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言			
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・学年主任に対して、学年での重点項目の確認を行い、定期的に取組の状況について確認をする場を設ける。その結果を評価し、取組の見直しを行う。 ・毎週、スキルタイムを計画的に行って、9月、2月の年2回、ここに学習の検定を行う。 ・合格できなかった児童に対して、授業や補充で既習事項の学び直しを行って合格を目指す。 ・人権集会を年3回実施し、道徳の授業35時間に計画的に取り組む。 ・道徳の授業づくりに関する校内研修等の実施により、取組の促進を図る。 							知恵をとぐ部会(蘭)		
		○基礎学力の徹底指導		○スキルタイムの検定に合格した児童80%以上								学力向上対策委員会(蘭)
●心の教育	●自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケート(ピーイング)において、肯定的な回答をした児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が一人で悩むことがないよう、SC,SSWとの連携を図るなど、組織的に指導を行う。 ・いじめへの対応について、研修や会議を行ったり、アンケートの実施により実態把握し早期対応したりする。 ・計画的にキャリアパスポートに取り組み、体験活動を充実させ、年間3回の学びの振り返りを通して、活動の成果を称賛する。 ・最終学年では、総合的な学習の時間に職業調べ等の学習の充実を図り、意欲を持たせる。 ・業間休みや屋休みにおける外遊びの奨励、運動カードの配布による取組の促進を図る。 ・保護者への啓発により、バス通学の児童以外、登校班・学年班による徒歩での登下校を促す。 ・食生活、睡眠等について、栄養教諭とのTTIによる授業での啓発を行う。 ・全校児童に早寝早起き朝ご飯のチェックカードを配布して、意識を持たせる。 ・給食後に歯磨きの音楽を流すことで、児童への歯磨きを促す。 ・月曜日から木曜日は19:00までに施錠、金曜日は17:30までに施錠する。教頭・主幹・指導教諭は、金曜とは別日に、17:30退勤を設定する。 ・業務改善の成功例を職員内で紹介し合う。(工夫の共有を促進する場を設定する。) 							心をとぐ部会①(濱野、木原)		
		●いじめの早期発見、早期対応体制の充実		○いじめ防止に向けての定義、取組、事案対処等について、組織的な対応ができていると回答した教員80%以上								心をとぐ部会①(指導教諭:濱野)
		○児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動		○「将来の夢や目標を持っている」のアンケート項目で、肯定的な回答をした6年生児童の割合80%以上								技をとぐ部会(玉井富)
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	○登下校や屋休み等、授業以外での運動やスポーツを行う時間を1週間で360分以上の5年生児童の割合70%以上(6月と11月に調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・業間休みや屋休みにおける外遊びの奨励、運動カードの配布による取組の促進を図る。 ・保護者への啓発により、バス通学の児童以外、登校班・学年班による徒歩での登下校を促す。 ・食生活、睡眠等について、栄養教諭とのTTIによる授業での啓発を行う。 ・全校児童に早寝早起き朝ご飯のチェックカードを配布して、意識を持たせる。 ・給食後に歯磨きの音楽を流すことで、児童への歯磨きを促す。 ・月曜日から木曜日は19:00までに施錠、金曜日は17:30までに施錠する。教頭・主幹・指導教諭は、金曜とは別日に、17:30退勤を設定する。 ・業務改善の成功例を職員内で紹介し合う。(工夫の共有を促進する場を設定する。) 							心をとぐ部会②(藤瀬)		
		●望ましい生活習慣の形成		○保護者アンケートの「我が家では、よい生活習慣の定着、食事の工夫、健康疾病治療に努めている。」の項目で、肯定的回答90%以上								心をとぐ部会②(伊東、酒井)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	○教育委員会規則に掲げる、月あたり時間外在等時間の上限45時間の遵守(100%) ○「タイムマネジメント・タスクマネジメントを意欲的に業務に取り組むことができた」と考える職員80%以上								学年主任会(教頭:松尾ひ)		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者		
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価				
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言			
○「気になる子、配慮を要する子」への支援体制の充実	○教員の専門性と意識の向上	○教育相談に関する研修会を行い、個の児童への柔軟な対応力が向上したと感じる教員の割合を80%以上 ○ケース会議などを充実させ、支援が必要な児童に対して組織的に対応できたと答えられる教員を80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会にて、事例研究等を行う。 ・全ての教員で気になる子、配慮を要する子の共通理解を図る。 ・必要に応じてケース会議を実施し、支援が必要な児童の情報を共有し、全ての教員が対応できる環境を整える。 							特別支援部 心をとぐ部会①(教育相談:伊東)		

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--